

わたしたちの 働きかた 2021

働き方改革通信
令和4年3月17日

発行：長野県教育委員会
(義務教育課)

見えないものを数値化して改善に取り組む

ワークエンゲイジメントの高い職場づくりが進められているA中学校の好事例を紹介します。「活き活き×やりがい職場調査」を活用し、「働きがい」「相互理解」といった、目に見えない感覚的なものを数値化してとらえ、そこから職場の課題を明らかにし、改善につなげた事例です。

「活き活き×やりがい職場調査」

【調査の概要】

○オンラインでの調査

- ・働きがい、仕事の量的・質的な負担感、心身の健康状態など、約30問、所要時間10分

【調査の流れ】

①調査の概要や方法を説明した動画や資料を視聴

②業務用パソコン等で専用アドレスにアクセスし、オンライン回答

③各学校ごとに集計された、結果データのフィードバック



④結果データの共有・分析
専門家によるアドバイス

⑤アドバイスやデータ活用による
業務改善検討・実施

ここがポイント

数値化された結果の分析から課題を探る

結果を見ると、職場の相互理解で、最小評価「1」を付けている先生がいる。悩みを抱えているのかも。孤立させてはいけません。

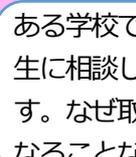


【教頭先生】



【悩める先生】

2か月で担任が交替する複数担任制の導入で、短い期間ではうまく学級がつくれずやりがいを失いそうになる時がある。他の先生はどうなんだろう…



【専門家】

ある学校では、複数担任制で生徒が先生に相談しやすくなった事例があります。なぜ取り組むのか、子どものためになることなのか。例えば……

ここがポイント

明らかになった課題へのアクション

複数担任制で生じた先生の悩みを共有できるよう学級指導経過報告の中に悩み相談の機会を設定し、研修会の中で、気軽に相談できるグループディスカッションを取り入れました。



同僚とのディスカッションから、短い期間での生徒との関わり方等、学級経営のヒントを得ることができました。おかげで、意欲がわいてきました。

☆来年度に向けたお知らせ☆

○本号で紹介した「活き活き×やりがい職場調査」は、令和5年度の運用開始を目指しています。校務支援システムC4t hでも行えるように、専門家やシステム業者と協議を重ねています。

○令和4年度1学期「勤務時間調査」では、令和3年度3学期分の調査も行います。A調査実施校は準備をお願いします。(B調査実施校は3学期分の提出は不要です。)通知は4月上旬発出予定です。

学校における働き方改革推進のための方策【概要版】

長野県教育委員会

1 目的

- 質的な視点
 - ・心身の健康を保ちながら、生き生きとやりがいを感じて豊かな教職生活を送る
 - ・教職員としての専門性や創造性を高め、子どもたちへの質の高い教育を実現
- 量的な視点
 - ・時間外在校等時間の縮減（原則年 360 時間以内及び月 45 時間以内）

2 方策

※ワーク・エンゲイジメント：仕事に誇りを持ち、仕事にエネルギーを注ぎ、仕事から活力を得て生き生きしている状態

	(1) 学校業務の協業化・分業化・外部化・システム化による業務の削減	(2) 家庭・地域・関係機関・企業等との連携・協働体制の構築	(3) ワーク・エンゲイジメントの [※] 高い職場づくりとワーク・ライフ・バランスの実現
【A】各学校の取組	<p>①信州型コミュニティスクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的活用促進 <p>④校内外の会議や研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短縮、効率化、オンラインツールの効果的活用 <p>⑥行事や日常業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精選や見直しの推進 <p>⑦学校・家庭・地域等の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分担見直しや関係の再構築 	<p>①学校単位の働き方改革推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点的に取り組む期間や自校の取組の成果や課題を振り返る期間の設定 <p>②学校・保護者・地域間の迅速な情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡手段のデジタル化推進 <p>③学校事務職員の学校経営参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、創造的な参画の推進 	<p>①バランスの取れた学校生活・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野県中学生期のスポーツ活動指針」や「長野県中学校の文化部活動方針」の基準に沿った課外活動や部活動等の運営の徹底 <p>②メンタルヘルス対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における労働安全衛生管理体制の整備
【B】市町村教育委員会の取組	<p>②統合型校務支援システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討、導入 <p>③保護者の利便性向上や教職員の業務負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校徴収金（給食費や学年費等）会計業務の負担軽減 	<p>③学校事務職員の学校経営参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育事務に関わる教育委員会と学校の連携体制構築 <p>⑤地域スポーツ・文化環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や学校区の枠を超えて練習等を行うことができる活動拠点の構築 	<p>②メンタルヘルス対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における労働安全衛生管理体制の整備 <p>④働きやすい職場環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務や時差勤務、1年単位の变形労働時間制等、多様な働き方についての研究
【C】長野県教育委員会の取組	<p>②統合型校務支援システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート体制の充実 ・導入により業務量が縮減した好事例の周知、広報 <p>④校内外の会議や研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン開催による移動、開催時間の短縮 <p>⑤専門的観点に基づく対応支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門スタッフの拡充、連携推進 <p>⑥行事や日常業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精選や見直しに関する好事例の周知、広報 <p>⑧教科指導の高度化や学校のICT環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1人1台端末」の効果的な活用の研究や環境整備 	<p>①学校単位の働き方改革推進</p> <p>⑤地域スポーツ・文化環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好事例の周知、広報 <p>③学校事務職員の学校経営参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務職員の資質・能力や意欲を高める体系的な研修制度整備 <p>④学校における働き方改革に関する理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域・関係機関・企業等に対する広報活動や研修会等の実施 <p>⑥民間企業等の学校教育活動やPTA活動への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援認証制度や学校応援企業の登録等の条件整備 	<p>①バランスの取れた学校生活・家庭生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・保護者・地域への理解を促す周知・広報 <p>③健康で生き生きとやりがいを実感する教職生活の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な調査実施、好事例の周知等によるワーク・エンゲイジメントの高い職場づくり推進 <p>④働きやすい職場環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務や時差勤務、1年単位の变形労働時間制等、多様な働き方についての研究 <p>⑤学び続ける教職員支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアステージに応じた専門性とキャリア形成を重視した研修の実施

追加箇所

注目

長野県教育委員会事務局 義務教育課管理係

課長 桂本 和弘 担当 千葉 富夫

電話 026-235-7426 (直通)

ファクシミリ 026-235-7494

電子メール gimukyo@pref.nagano.lg.jp